資料1-1　別紙

次期長期モニタリング計画に係るモニタリング項目について

	モニタリング項目	実施主体	モニタリング手法	評価指標	評価基準	評価に用いるモニタリング項目	関連するモニタリング項目等	次期評価項目との紐付け										
								A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	**衛星リモートセンシングによる水温・クロロフィルaの観測**	検討中	MODISデータの解析により、知床半島周辺海域の水温とクロロフィルaを観測。	モニタリング項目から除外する				－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
2	**海洋観測ブイによる水温の定点観測** 【ウトロ沿岸域海洋観測ブイによる水温の定点観測】 【羅臼沿岸域海洋観測ブイによる水温の定点観測】	環境省	海洋観測ブイを斜里町ウトロ沖に1基、羅臼町昆布浜沖に1基設置し、春期～秋期の水温を観測。 ※その他、既存データの活用を検討する	水温	基準なし（自然環境等の変動を把握し、様々な施策の検討の際の基礎的な情報を収集するためのモニタリング）。		○	○	－	－	○	－	－	－	－	○	－	－
3	**アザラシ・トドの生息状況の調査** 【海棲哺乳類生息状況調査】	北海道 北海道区水産研究所等	モニタリング手法・成果指標・評価基準については見直しを検討			○		○	－	○	－	○	－	－	○	○	－	－
4	**海域の生物相、及び、生息状況（浅海域定期調査）** 【浅海域定期調査】	環境省	知床半島沿岸の浅海域における、魚類、海藻、無脊椎動物のインベントリ調査。	生物相、生息密度、分布	おおよそ登録時（orベースデータのある時点）の生息状況・多様性が維持されていること。	○		○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－
5	**浅海域における貝類定量調査** 【浅海域貝類定量調査】	環境省	知床半島沿岸に設定された調査定点において、50cm×50cmのコドラートを設定し、その内部に出現した貝類の個体数を種ごとに記録。	生息密度、種組成	おおよそ登録時（orベースデータのある時点）の生息状況・多様性が維持されていること。	○		○	○	－	○	－	－	－	－	－	－	－
6	**ケイマフリ、ウミネコ、オオセグロカモメ、ウミウの生息数、営巣地分布と営巣数調査** 【知床国立公園における海鳥の分布調査】 【海鳥営巣経年】	環境省	ウトロ港から知床岬を経て相泊港までの区画ごとの繁殖数をカウント。ケイマフリは、生息が確認されている範囲において海上の個体数のカウント。営巣数の変動についても記録する。	営巣数とコロニー数、特定コロニーにおける急激な変動の有無	おおよそ登録時の営巣数が維持されていること。	○		－	○	○	－	－	○	－	－	○	－	－
22	**海ワシ類の越冬個体数の調査** 【海ワシ類飛来状況調査】	環境省	知床半島沿岸部の道路沿い、流氷上、河川沿いのワシ類の種数、個体数、成鳥・幼鳥の別などを記録する。	海ワシ類の越冬個体数	おおよそ登録時の生息状況が維持されていること。	○		－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－
①	**航空機、人工衛星等による海氷分布状況観測** 【海洋概報】 【海洋速報】	第Ⅰ管区海上保安部	海氷の分布状況の調査。	海氷の分布状況	基準なし（自然環境等の変動を把握し、様々な施策の検討の際の基礎的な情報を収集するためのモニタリング）。		○	○	－	－	○	－	－	－	－	○	－	－
②	**アイスアルジーの生物学的調査**	東海大学、北海道大学	海氷で覆われた時期の海氷内の基礎生産生物量の把握。	モニタリング項目から除外する				－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
③	**「北海道水産現勢」からの漁獲量変動の把握** 【水産現勢】	北海道	漁獲量を調査。	漁獲量	基準なし（自然環境等の変動を把握し、様々な施策の検討の際の基礎的な情報を収集するためのモニタリング）。		○	○	－	○	－	○	－	－	－	○	－	－
④	**スケトウダラの資源状態の把握と評価（TAC設定に係る調査）** 【我が国周辺水域の資源評価】	水産庁	スケトウダラの資源水準・動向。	資源水準・動向	おおよそ登録時の資源状態を下回らないこと。	○		○	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－
⑤	**スケトウダラ産卵量調査** 【羅臼海峡におけるスケトウダラ産卵量指数の経年変化】	羅臼漁業協同組合、釧路水産試験場	スケトウダラ卵の分布量調査。	卵分布量	基準なし（自然環境等の変動を把握し、様々な施策の検討の際の基礎的な情報を収集するためのモニタリング）。		○	○	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－
⑥	**トドの日本沿岸への来遊頭数の調査、人為的死亡個体の性別、特性** 【トド資源調査】	北海道 所等	モニタリング項目⑥については、３と統合する		基準なし（自然環境等の変動を把握 基礎的な ング）。		○	○	－	－	－	○	－	－	○	○	－	－
⑦	**アザラシ・トドの被害実態調査** 【海獣類による漁業被害状況等について】	北海道	トドによる漁業被害の実態調査。	被害実態	※基礎的な統計資料であることから、具体的数値目標を設定することは困難。		○	－	－	－	－	－	－	－	○	○	－	－
⑧	**オジロワシ営巣地における繁殖の成否、及び、巣立ち幼鳥数のモニタリング** 【オジロワシ繁殖モニタリング調査】	オジロワシモニタリング調査グループ	オジロワシ営巣地の状況を目視把握。	つがい数、繁殖成功率、生産力（つがい当たり巣立ち幼鳥数）	おおよそ登録時のつがい数、繁殖成功率、生産力が維持されていること。	○		－	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－
⑨	**全道での海ワシ類の越冬個体数の調査** 【オオワシ・オジロワシ一斉調査】	合同調査グループ	全道における海ワシ類の越冬個体数の把握。	海ワシ類の越冬環境収容力	参考資料（基準なし）		○	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－
⑩	**海水中の石油、カドミウム、水銀などの分析** 【海洋汚染調査】	海上保安庁海洋情報部	表面海水及び海底堆積部の石油、PCB、重金属等の汚染濃度分析。	表面海水及び海底堆積部の石油、PCB、重金属等の汚染物質濃度	基準値以下の濃度であること。	○		－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－
⑪	**シャチの生息状況の調査** 【北海道シャチ研究大学連合による個体識別調査】	Uni-HORP（北海道シャチ研究大学連合）	個体識別調査。	識別個体を含むシャチの来遊	人間活動がシャチの生息地利用を妨げないこと。	○		－	○	○	－	－	○	－	－	○	－	－